



げんきいっぱい！笑顔満開 (海津見保育園)

あかわ *Sakawa* 議会だより

64 2015.11.1

発行 高知県佐川町議会

9月定例会

contents 目次



あさぎまだらがやってきた (牧野公園)

平成26年度決算を認定	2
補正予算 ピックアップ	8
一般質問 マイナンバー制度	11

9月定例会

平成26年度

一般会計・特別会計決算を認定

9月定例会は、4日から11日までの会期で開かれました。

平成26年度決算の認定のほか、平成27年度補正予算をはじめ、条例改正など議案11件、報告6件、同意案1件、意見書1件を審議し、採決の結果、賛成全員及び賛成多数で全件可決しました。

なお、議員提出意見書案1件は、継続審査と決定しました。

一般質問には5人の議員が登壇し、町政全般について、活発な論戦を展開しました。

一般会計

歳入においては、1億5600万円余りの増、歳出においては3900万円余りの減となっている。

歳入では、消費税率変更に伴う社会保障財源分の地方消費税交付金の増加や介護基盤緊急整備等対策事業を実施したことによる県支出金の増加が要因である。

歳出では、庁舎空調整備工事や黒岩中学校耐震化工事完了に伴う費用の減少、地方債の償還額の減少等が要因である。

実質収支では、2億8300万円余りの黒字である。

病院事業黒字へ転換



病院事業

昨年度は耐震化事業に伴う除却費用等の特別損失の費用計上により赤字となっていたが、平成26年度決算においては、新会計制度導入もあり、純利益1千万円余りの黒字となっている。

国民健康保険事業

歳入歳出ともに17億9千万円余りで、基金残高5400万円となっている。国保会計の安定した運営に向け、税額の見直しを行っており、平成27年4月1日から適用になっている。

介護保険事業

歳入は16億6200万円余り、歳出は16億5900万円余りとなっている。

水道事業

当年度純利益は1100万円余り、過去3年間では、安定的に利益が計上できている。



平成26年度各会計の決算状況

歳出 総額117億8,113万円

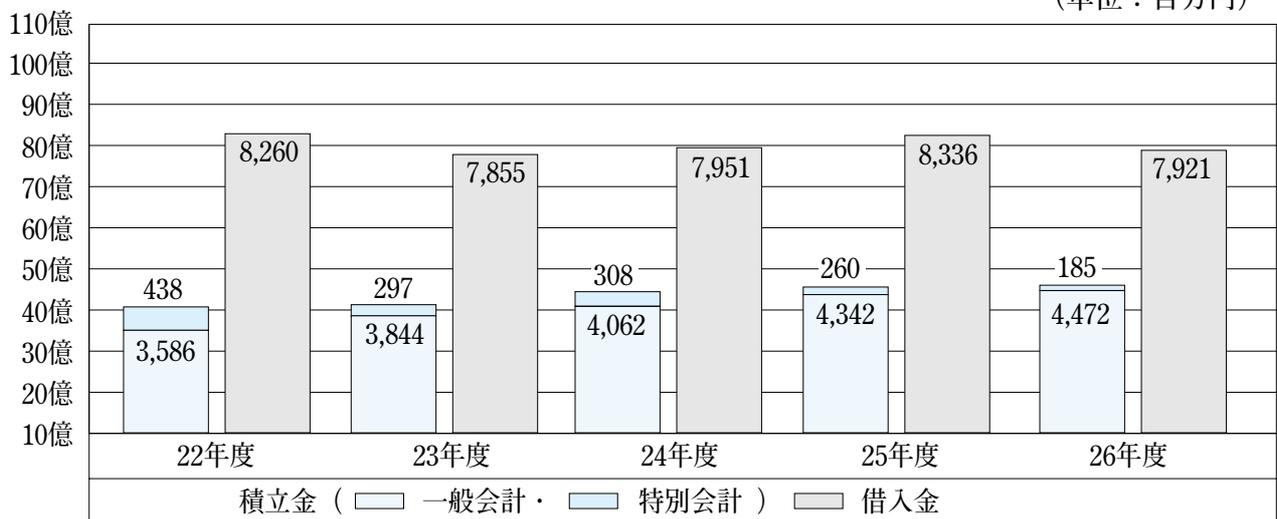
(単位:円)

会計名	決算額				
	歳入	歳出	翌年度繰越額	実質収支額	
一般会計	65億9,127万	61億1,833万	1億8,973万	2億8,321万	
特別会計	国民健康保険	17億9,358万	17億9,335万	0万	23万
	住宅新築資金等貸付事業	3,859万	92万	0万	3,767万
	学校給食	5,519万	5,519万	0万	0万
	農業集落排水事業	2,335万	2,335万	0万	0万
	介護保険	16億6,253万	16億5,975万	0万	278万
	後期高齢者医療	2億1,531万	2億1,212万	0万	319万
	水道事業	1億7,390万	1億6,287万	0万	1,103万
	病院事業	17億6,553万	17億5,525万	0万	1,028万
総合計	123億1,925万	117億8,113万	1億8,973万	3億4,839万	

※水道・病院事業特別会計は税抜収益的収支を記載

積立金・借入金の推移

(単位：百万円)



※借入金は、特別会計・一般会計の合計金額を記載

町の基金

町の基金(貯金)の状況は、平成26年度には5千万円余り増え、年度末現在高は46億5千万円余りとなっている。

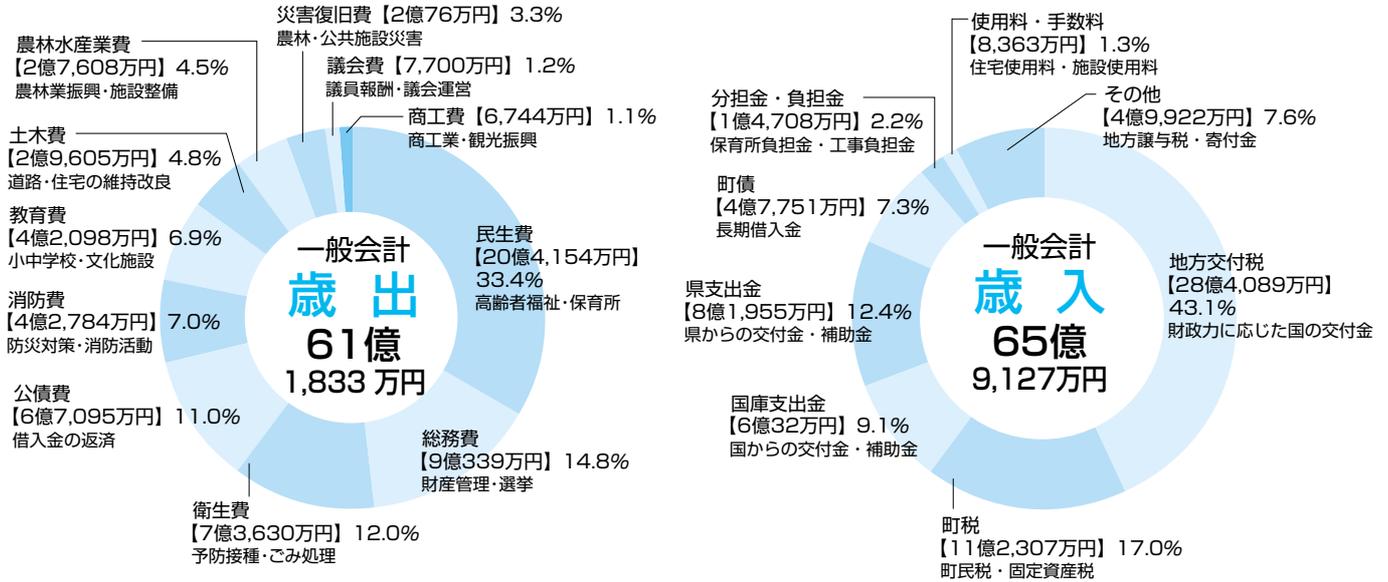
町の借入金

一般会計では、借入金よりも償還金のほうが多く、1億3千万円弱減少した。特別会計においても、2億2千万円余り減少し、全体としては3億5千万円程度減少し総額79億2千万円余りとなっている。

どう生かされた？みんなのお金

借入金の返済減少する

歳入歳出の内訳は下記の表のとおりです。



- ① 財政力指数 0.29
 - ② 経常収支比率 89.1
 - ③ 実質公債費比率 8.6
- 市町村の財政状況を表す①財政力指数 ②経常収支比率 ③実質公債費比率で見ると
- 佐川町では自前でまかなう財源が約3割しかありません。
- 昨年度86.0で3ポイント好転し、使い道を限定されないお金が増えています。
- 借入金の返済額は少なくなり5年前の15.7と比較すると、7.1ポイント好転しています。

監査意見(要旨)

監査委員
上田 益 英
徳 弘 初 男

平成26年度一般会計の歳入は、前年度から1億5683万円の増額となっている。この要因は、消費税率変更に伴う社会保障財源分の地方消費税交付金の増、介護基盤緊急整備事業や施設開設準備等特別対策事業を実施したことによる県支出金の増等である。

一方、歳出では、3920万円の減額となっている。これは、公共施設整備基金の積立金の減、庁舎空調整備工事や黒岩中学校耐震化工事完了に伴う費用の減、地方債の償還額の減等によるものである。

未収金の状況は、一般会計、特別会計を含める

と、収入未済額は9321万円で、前年度より4328万円減少している。収納業務の一元化を図り、滞納整理を強化したことにより、徴収率や未収金に成果が表れていると考える。

今後においては、財政状況を踏まえ、投資のバランスを図りながら、必要な財源を確保し、町民の負託と信頼にこたえるべく、最小の経費で最大の効果を挙げるよう、計画的、効率的かつ効果的な行政運営を推進されたい。



一般会計

坂本議員 ふるさと寄付金約380万円の純利益はどれくらいか。

総務課長 大体45%程度だ。

坂本議員 中学生までの医療費無料化で経費は約4000万円となっている。これに伴うペナルティ1分はいくらか。

町民課長 約133万円となっている。

森議員 決算の総括は。

町長 おおむね所期の目的を達成できた。

中村議員 防災の予算措置は十分か。

総務課長 要望のあるものに対しては交付している。

松浦議員 基金の益金積立のルールと使途は。

会計管理者 条例により定めがある。

国民健康保険特別会計

坂本議員 国保の保険料軽減の対象者数は。

町民課長 2399人61.7%が対象となっている。

介護保険特別会計

松浦議員 現年度分の徴収がマイナースになっている。理由は。

健康福祉課長 納付された方の死亡等によるもの。

水道事業特別会計

森議員 耐震性に問題のある水道管布設替えの進捗状況は。

産業建設課長 27年度中にすべて終わる。

森議員 貯水タンクの安全性はどうか。

産業建設課長 貯水タンクの古いものは補強していく。

松浦議員 特別損失512万の内容は。

産業建設課長 制度改正による引当金だ。

病院事業特別会計

永田議員 町長の医師住宅の使用料はいくらか。

また町長の退去はどうなっているか。

病院事業副管理者 約7万円程度だ。

町長 住宅購入予定で、住宅を構えたら退去する。

報告案件

財政健全化判断

比率等の報告

地方公共団体の財政の健全化に関する法律（財政健全化法）に基づき報告されたもので、一般会計等の実質赤字比率、連結実質赤字比率は黒字のため数値がなく、実質公債費比率8.6%、将来負担比率も数値がなく、早期健全化基準を下回っている。

また、水道事業、病院事業、農業集落排水事業、特別会計の資金不足比率は、いずれも資金不足はなく健全であると報告を受けた。

条例制定・改正

佐川町手数料条例の一部改正

一部改正

マイナンバー制度により、平成28年1月から番号の利用が開始されることに伴い、紛失等による通知カード及び個人番号カードの再交付手数料を定めるもの。

佐川町個人情報保護条例の一部改正

条例の一部改正

番号法が公布され、個人情報保護条例について、町が保有することになる特定個人情報の適切な取り扱いを講じるための改正。

人事

教育委員会委員

栗田 真二氏

佐川町本郷耕1501番地1

工事請負契約

平成27年度

清鏡地区地域農業施設機能保全対策工事

(契約の方法)

指名競争入札

(契約金額)

5108万4千円

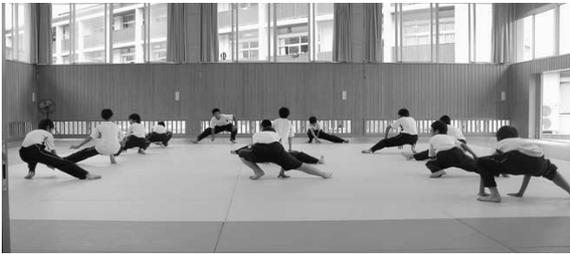
(契約の相手)

有限会社 愛機工業



清鏡堰

平成26年度 決算質疑



けがのないよう準備体操！

9月定例会で決まりました



平成26年度 注目した事業

9月定例会において、認定した平成26年度各会計決算の中から、注目する事業を紹介します。



多くの意見で盛りあがったしあわせ会議

第5次佐川町総合計画に反映するため、町民アンケート、住民ヒアリング、しあわせ会議等を実施し、課題を抽出、整理しました。

総合計画策定

1,236万円

福祉の拠点を設け、地域福祉充実のための事業です。尾川、斗賀野ではじまりました。

あったかふれあいセンター事業

1,419万円



毎日にぎわうあったかセンター（斗賀野）



斗賀野集落センター予定地

集落づくり、地域づくりのため黒岩、斗賀野、加茂で平成28年度中の開設に向け取り組んでいます。尾川は平成26年度から活動しています。

集落活動センター事業

914万円

集落活動センター事業とは

今、集落の力が弱くなっています。住民の力を取り戻し集落がもっと活発になるよう、中心的役割を果たす組織をつくり、地域の拠点をつくる事業です。

地域の活性化・移住促進を図るため、自伐型林業5名、地域支援1名、6次産業化支援1名が活動しました。

地域おこし協力隊 2,236万円



観光協会でがんばる協力隊員



自分たちで山を持続的に育てていくため、研修や作業路開設のための費用です。

間伐作業路開設事業 474万円

天井や照明器具等の落下防止のための設計を行っています。

小中学校非構造部材耐震化設計 1,130万円



落下物から子どもを守る



地域の安心が増したヘリポート

黒岩地区に救急搬送や災害時に備えて、緊急用ヘリコプター離着陸場を整備しました。

緊急用ヘリポート整備 1,478万円

会計名		補正額	補正後の額
一般会計		1億3,718万	71億2,575万
特別会計	国民健康保険	1,386万	20億2,700万
	住宅新築資金等貸付事業	3,767万	4,097万
	介護保険	1,780万	18億4,589万



がけくずれ住家防災
対策事業
1600万円

がけくずれ予防対策工
事の要望増による費用。

介護サービス施設整備
事業
1153万円

斗賀野荘浴室給湯設備
改修費及び車いす用入浴
設備導入費用。



車イスでも利用できるようになる

ものづくり推進事業
2605万円

佐川町ブランド構築事
業委託料及びレーザーカ
ッター等デジタルツール
購入費用。



ものづくりが行われる予定の〇久屋敷

地域づくり事業
965万円

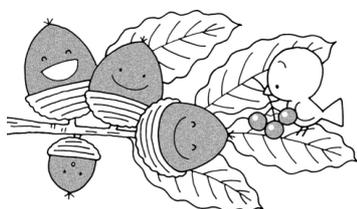
黒岩地区集落活動セン
ター用地購入費及び基
本・実施設計委託料。



黒岩中央保育所建設予定地

黒岩中央保育所新築
用地造成設計委託
500万円

黒岩中央保育所新築用
地造成工事設計委託料。



議案質疑

提出議案に対して、各議員から出された質問の主なものを紹介します。

補正予算

坂本議員 町内の街灯の
数、その中でLED化さ
れた数、補正であと何基
できるのか。
総務課長 防犯灯の数は
1240基。LED化さ
れた数は158基。補正
であと28基できる。
坂本議員 黒岩中央保育
所建設の進捗状況は。
健康福祉課長 今年度中
に用地購入、基本設計、
実施設計を実施し、28年
度末には完成予定だ。
永田議員 レーザーカッ
ター等の設置場所はどこ
か。今後設置場所を慎重
に協議願いたい。

チーム佐川推進課長 検
討中だが旧竹村呉服店を
予定している。協議しな
がら進めていく。

松浦議員 ブランド構築
事業とは何か。

チーム佐川推進課長 統
一的な佐川町のブランド
を構築することで各分野
や団体が情報発信し、ト
ータルとして佐川をPR
するもの。

町道廃止について

中村議員 地域住民の
理解は得ているか。

産業建設課長 この道
路は国の施設内の道路
で一般の通行はなく問
題はない。

工事請負契約の締結
について

中村議員 この事業の
内容は。また別の方式
にした方がよいのでは
ないか。

産業建設課長 現在設
置しているゴム堰の、
長寿命化を図る事業
だ。転倒堰などのほう
がよいと思うが、それ
への転換は補助金の関
係で難しい。

意見書

国にももの申す

総理大臣をはじめ、
関係機関に意見書を提出

特別支援学校の「設置基準」策定を求める意見書

(提出者 岡村統正)

全国的に特別支援学校の児童・生徒数の増加がすすみ、在籍者数はこの10年間で3万6800人増えている。一方学校建設はほとんど進まず、150人規模の学校に400人以上の児童・生徒が押し込まれるなど、子どもたちの学ぶ権利を奪うばかりか、命と健康をも脅かしている。全国で不足している教

室が、普通教室だけで3963室にのぼることを文科省調査も認めている。幼稚園から小中学校、高校、大学、専門学校まですべてにある「設置基準」が特別支援学校だけにならないことから、国に対し特別支援学校に「設置基準」を策定することを強く要請する。

(要旨)



議員各位の意思表明

賛否表(平成27年9月定例会) ○:賛成 ●:反対 -:議長 欠:欠席

	下川芳樹	坂本玲子	邑田昌平	森正彦	片岡勝一	松浦隆起	岡村統正	中村卓司	永田耕朗	西村清勇	今橋寿子	徳弘初男	藤原健祐
平成26年度一般会計の決算の認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
平成26年度国民健康保険特別会計の決算の認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
平成26年度住宅新築資金等貸付事業特別会計の決算の認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
平成26年度学校給食特別会計の決算の認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
平成26年度農業集落排水事業特別会計の決算の認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
平成26年度介護保険特別会計の決算の認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
平成26年度後期高齢者医療特別会計の決算の認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
平成26年度水道事業特別会計の決算の認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
平成26年度病院事業特別会計の決算の認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
平成27年度一般会計補正予算(第2号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
平成27年度国民健康保険特別会計補正予算(第2号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
平成27年度住宅新築資金等貸付事業特別会計補正予算(第1号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
平成27年度介護保険特別会計補正予算(第2号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
手数料条例の一部を改正する条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
個人情報保護条例の一部を改正する条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
町道路線の認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
町道路線の一部廃止について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
町道路線の廃止について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
平成26年度水道事業特別会計利益剰余金の処分について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
工事請負契約の締結について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
特別支援学校の「設置基準」策定を求める意見書	○	○	●	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○

平成26年度決算

(単位:円)

会計名	歳入総額	歳出総額
一般会計	17億3,710万	16億7,381万
特別会計	特別養護老人ホーム	13億7,679万
	養護老人ホーム	1億3,229万
	障害者支援施設	2億5,136万
	ふるさと市町村圏	3,232万
合計	35億2,986万	31億9,476万

《組合長 諸般報告》

消防署が今年1月に導入している、119番指令台システムとデジタル無線の運用状況については、119番通報に対して通報場所が瞬時に特定できることから、迅速、的確に

対応でき、出勤に要する時間短縮が図られている。また、デジタル無線は、通信エリアが従前以上に確保でき、消防署と消防団が常に情報を共有する中で連携活動ができており、指揮系統の一元化を図ることができるようになった。

清掃センターは、稼働開始後21年が経過し、通常の維持管理、保守では対応が困難となる設備が多々見られる状態となっている。平成26年度に精密機能検査を実施し、老朽化した設備は更新する大規模改修を行い、その後適切な修繕を継続していき施設を長寿命化させる方針としている。平成28年度に基本設計を行い、大規模改修を進めていく。

高吾北 広域 町村事務組合 議会

9月2日

防災かまどベンチ 積極的に検討を

総務課長 今後、研究していきたい

松浦 隆起 議員



5人が町政を問う
ここが聞きたい

普段はベンチ、災害時には炊き出しができるかまどとして利用できる「防災かまどベンチ」というものがある。本町でも指定避難所や、一時避難所となる可能性のある公園などに、設置することは災害時を想定すれば有効な取り組みになる。積極的に検討するべきだ。横山総務課長 地域の公園や避難所となる公民館などへ設置可能なところもあるかと思う。自主防災組織にも紹介したい。町としても、調理施設のない避難所、また、学校など調理施設があつたとしても補完として「ベンチ」が役に立つこともあるかと思うので、今後、研究していきたい。



いつもはベンチ、災害時にはカマド

認知症チェッカー 導入し、早期発見を

健康福祉課長 検討したい

認知症は、認知症予備軍の人が認知症にならないうちに予防していくことが重要な点だと言われ、早期発見が重要となる。

その一つの手立てとして、パソコンや携帯電話などで、簡単に認知症のチェックができる「認知症チェッカー」というものがある。本町でも導入し、早期発見につなげるべきだ。岡崎健康福祉課長 気づきというのを促す分については十分効果があるのではないかと考えている。今年度から検討している「認知症初期集中支援チーム」と併せて、取り組みを進めていくことがより効果が発揮されるのではないかと感じている。情報分析をした上で、導入するかどうかを検討したい。



認知症サポーター養成講座

子ども安心カード 導入進めるべきだ

教育長 年内に結論を出したい

保育所や小中学校において、児童生徒らが病气やけが、アレルギー症状などで救急搬送される際に、学校と消防が迅速に連携できるための「子ども安心カード」という取り組みがある。既往歴やアレルギーの有無、服用薬などを記しておき、救急隊に手渡しをするもので、本町においても導入を進めるべきだ。

川井教育長 「子ども安心カード」は、内容が簡潔で利便性が高いと考え、導入に向けて、校長会で検討し、PTAと協議を経て年内には結論を出したい。岡崎健康福祉課長 学校とある程度、歩調を合わせ、園長会等で協議をした上で、年内に結論を出したい。



坂本 玲子 議員

子どもの学ぶ権利は憲法でも保障されている。人口減少を食い止めるためには子育て支援を充実させることが重要だ。経済的理由で進学をあきら

給付制奨学金制度導入を

教育長 国、県の動向を見守る

める子どもがたくさんいる。町独自の給付式奨学金の導入としてはどうか。

またその財源にふるさと納税を活用してはどうか。

川井教育長 学ぶ権利を保障することは、国の責任においてすべきものであると思う。まずは国や県の給付型奨学金の制度の動向を見守る。

横山総務課長 ふるさと寄付金は寄付者の意思を反映できるような事業に充てていきたい。どのような事業に活用するかは今後検討していく。



この子らの未来のために

マイナンバー制度の情報管理は大丈夫か

総務課長 安全性の確保はできている

年金情報の流出問題で情報漏えいの不安が高まっている。佐川町での情

報漏えい対策は十分か。将来的には資産状況や健康状況まですべてが赤裸々になる可能性がある。制度の拡大は情報漏えいの危険性を高める。情報は行政の中だけにとどめるべきだ。

総務課長 さまざまな個人情報を取り扱う町の総合行政システムは外部から隔離した基幹系の回線になっていて、一定の安全は確保できている。しかし、運用面での危険性があるので、職員の情報管理能力向上のための研修をしていく。

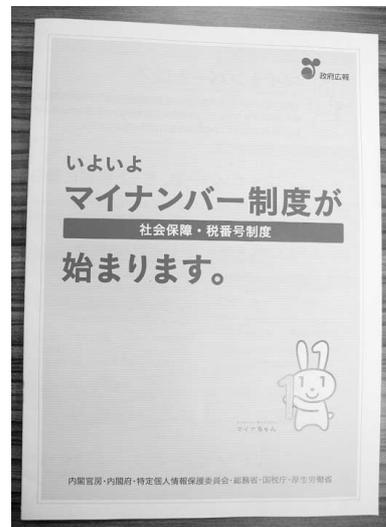
臨時職員の雇い止め期間をなくせ

総務課長 職種や状況によって短縮

総務省の通達で臨時職員の再任用では雇い止めの必要はないということが書かれている。特に専門職が必要な現場では人がいなくて困っている。1カ月の雇い止めをなくす形にできないか。長期に雇用が必要で資格が必要な職場では任期付職員の形での雇用を検討してはどうか。

横山総務課長 再任用については1カ月の期間をあけることを原則としている。その職種、状況によってその期間を短縮して業務があるそかにならないような対策をとる。任期付職員については研究をしていく。

その他の質問
○プレミアム付き商品券の販売方法の検討を



不安がいっぱい！マイナンバー制度



森 正彦 議員

新図書館整備委員会 進捗状況と内容は

教育長 今年の11月に答申を受ける

町では図書館整備検討委員会を設置して、整備についての検討をしている。会の進捗状況、今後のスケジュールについて聞く。また、教育委員会として、町立図書館の求められる役割、機能をどう考えているか。

JR駅舎の存続を

総務課長 貸与を受け存続したい

JR四国は、斗賀野駅と西佐川駅の駅舎を撤去する方針だ。両駅とも利用者が多く、人生の思い出も詰まっている。町民にとっては大事に守っていきたい施設である。町の方針はどうか。

有効活用するのであれば町に無償で提供してもよいとの申し出があった。その後、役場内部での協議や両駅舎の視察、自治会長の意見聴取をした。町としては、町民の方々の思いを勘案し、駅舎は無償提供を受けることとし、公のための活用を考えていく。またトイレは公衆トイレとして改修することを念頭に、維持管理の方法を検討する。

横山総務課長 JR四国から2つの駅舎について、維持管理費の軽減のため小規模な簡易待合に建て替え、トイレは取り壊す。しかし、これらの駅舎を



佐川にとって求められる図書館は？

健康づくり 住民と協働で

健康福祉課長 運動として進める

国保料が上がった。健康づくりをして医療費を抑制しないと、団塊の世代が後期高齢者になるころには大変なことになる。

住民と協働の理念で健康づくりに取り組み、健康寿命を延ばして医療・介護の費用を抑制するよう健康づくり運動の体制を構築すべきだ。岡崎健康福祉課長 町では平成24年度から5カ年の佐川町健康増進計画と食育推進計画を立てて実行している。健康づくり運動はヘルスイットの皆さんや、地域で活動されている方と連携を密にして、町民の一人一人の運動が継続できるように取り組みを進めたい。



残して活用したい思い出の駅舎



中村 卓司 議員

町民の中から道の駅がほしいとの声が大きくなり、JAはちぎんの店が中心になり、署名運動を行っている。

道の駅どうする

町長 具体的に検討を進める

町長は道の駅計画は5年以内に検討すると前回の議会で答えた。総合計画にどのように反映していくのか。

堀見町長 「道の駅が欲しいね」との声が大きくなって、日増しに増えているという実感があある。来年4月からスタートする佐川町の総合計画ができ上がる中で、具体的に検討を進めていく。

土地基盤整備 どう進める

町長 農業振興施策として検討

渡辺産業建設課長 佐川町の農地面は814ヘクタールであり、そのうち212ヘクタールが圃場整備されている。全体の26%が実施されている面積だ。
堀見町長 総合計画の中で基盤整備事業を農業の振興施策の一つとして検討しよう。

これからの農業を考える中で、農業者や農業後継者のために農業基盤整備がまだ不十分だと考える。佐川の現状はどうか。また、今後の土地基盤整備をどう進めていくのか。



基盤整備された広い農地



観光に一役！



歴まち事業の実績は

チーム佐川推進課長 観光客増加

歴まち事業で今までの実績はどうか。観光客の増加はどうか。また、今後どのように進めていくのか。

片岡チーム佐川推進課長 ソフト面では、広報、啓発活動や酒蔵ロード劇場の開催、さらに上町ガイドやひな祭りイベント、また移築した名教館で観光ガイド養成研修、高知大学の出前講座、本年度は小学生から高校生対象の論語塾や町民の自主企画講座なども開催されている。それらにより昨年より毎月百名以上、観光客が増加している。

ハード面では、佐川文庫庫舎、旧浜口家住宅、牧野公園の整備などに取り組んできた。

今後、旧竹村呉服店、司牡丹一号酒蔵事業を展開する。そのため、事業期間を平成30年まで延長する。

その他の質問
○農業後継者対策について
○ふるさと納税について



下川 芳樹 議員

介護保険サービス 2割負担の状況は

健康福祉課長 具体的な苦情はない

本年8月より一定以上の所得がある高齢者の、介護保険サービス利用時の個人負担が1割から2割に引き上げられた。被保険者の状況はどうか

岡崎健康福祉課長 町の要介護認定者986名の中で、2割負担は35名。通知による制度の問い合わせはあったが、具体的な苦情はない。2割負担移行により、サービスの変更や影響を受けたとの報告もない。



延期されたヘリポート予定地

霧生関ヘリポート 1年間延期の理由は

総務課長 防災拠点として民有地取得を検討

霧生関の開発については、平成27年度にヘリポート完成を目指したいとのことであったが、1年間延期された。延期に至った経緯と今後の計画は。
横山総務課長 広域の防災拠点として活用できるよう計画内容を詰めている。
その中で、大型ヘリが離着陸できる面積に加え、自衛隊や消防救助隊、警察災害派遣隊の宿営場所確保のため一定規模の土地の広さが足りないことが判明した。民有地の取得を検討し、造成工事は28年度から行う。
渡辺産業建設課長 今後の予定については、本年度末に決定する利用計画に基づき都市計画法、森林法の開発変更許可を申請する。来年度は大型ヘリコプターの緊急離発着場を含めた開発工事に着手し、28年度中の完成を予定している。

移住・定住対策の 計画策定状況は

チーム佐川推進課長 計画を12月定例会に諮る

片岡チーム佐川推進課長 現在1万3千500人の町人口が、何もしなければ、45年後には約6千900人になると推測される。町は、人口展望で出生率の向上と移住・定住の効果を反映し、45年後の人口9千340人を目指す。

移住・定住の施策を総合計画、総合戦略に反映し、議員への説明を経て12月定例会に諮ることとしている。

7月に空き家バンクを設置し、2件の登録がある。10件は所有者と相談中である。

その他の質問
○マイナンバー制度について

現在策定中の計画で、移住・定住対策について、すでに確定している内容と空き家バンクの進捗状況は。



斗賀野大好きで移住されたご夫婦

あれはどうなったか？

あの質問のゆくえ

No.35

編集後記



子育て支援策で保育料の軽減を（平成26年9月定例会）

少子化対策のためにも、子育てしやすい町づくりは大事である。保育料の軽減はできないか。（坂本玲子議員）

町答 長弁

平成27年度から軽減実施

平成27年度より、第3子無料化を年長まで、同時入所の第2子も無料化を実施している。

どうなった

国、県の方針に沿って考える

子育て支援は重要な施策と考えている。
財政的支援については、国、県の方針に沿って考えたい。

あなたが選んだ議員の仕事ぶりを見にきませんか？

次の定例会は12月4日（金）午前9時開会予定です。傍聴においでください。

議会広報編集委員会

※わかりやすい紙面にと心がけています。読後のご感想、ご意見をあ寄せください。

委員	森 正彦
副委員長	片岡 勝一
委員	邑田 昌平
委員	坂本 玲子
委員	下川 芳樹

意見はいろいろあるだろうが、子どもたちには平和な日本を残したい。
坂本 玲子

地域で がんばる

地乳プロジェクト推進会議

わがまち佐川には、地域のために活動している組織やグループがあります。その皆さんにスポットを当て紹介します。今回は、地乳プロジェクト推進会議のリーダー竹村英久さんにお話を伺いました。



竹村さん



祭りを盛り上げる「モー娘」

「先日の吉本乳業百年記念のイベントは大勢の人でにぎわいましたね。」

メンバーとともに頑張ったか
いがありました。

「結成した年と目的は？」

2011年においしい牛乳を
ブランド化して売ろうと結成
しました。



仔牛もイベントの人気者！

「メンバーの人数と構成は？」

現在20人くらいです。酪農家
4人と商工会青年部員が中心と
なっています。

「地乳プロジェクトの成果をど
のように感じていますか？」

斬新なデザインが受けて売り
上げも伸びました。ブランドと
して定着したかなと思っています。



たくさんの出店でにぎわった

「地域ブランドとして皆さんに
浸透し、認知されてきましたね。
今後の抱負は。」

生産者も今まで以上においし
い牛乳を作ろうと励みになりま
す。地乳を使ったプリンやアイ
ス、パンもできました。

しかし何よりよかったのは、
若いみんなが前を向き、力を合
わせてできたことです。これか
らも前に向かって進んでいき
たいと思います。



楽しいお祭りができました
ね。これからも佐川町のブラン
ドづくりにみんなで力を合わせ
頑張ってください。期待してい
ます。ありがとうございます。

あなたの周りで、佐川町の元
気のために頑張っている「組織
やグループ」をぜひ、ご紹介く
ださい。